

## 「メルセデス・ベンツ SLKクラス」を大幅改良

2008年5月26日

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:ハンス・テンペル、本社:東京都港区)は、メルセデス・ベンツの2シータースポーツカー「SLKクラス」を大幅に改良し、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じ発売いたします。

メルセデス・ベンツ SLK クラスは、1997年に世界に先駆けて自動開閉式ハードトップ「バリオーフ」を備え、クーペの静粛性とオープンエアドライブの爽快さをスイッチ1つで簡単に楽しむことができる革新的なモデルとして発売され人気を博してきました。2004年にフルモデルチェンジを受け、エンジンやシャーシなど基本性能の大幅な強化と、機能・装備の充実、内外装デザインのスポーティ性や質感の向上を図り、このクラスにおけるマーケットリーダーとしての地位を築いています。

SLKクラスの大きな変更の1つである外装は、F1マシンを彷彿とさせるエアインテークをはじめウインカー部分をアローデザインとし、視認性向上のため大型化を図ったドアミラー、ディフューザーデザインのリアスカートやダークティンテッドリアコンビネーションランプを採用し、より精悍でスポーティなエクステリアとなりました。

内装は、クローム付3スポークステアリングホイールや、周囲にクロームを施したメーターパネルとレッドをあしらったメーター指針により、ドライバーにスポーティな走りを予感させます。また、センターコンソールにはHDDナビゲーション、地上デジタル放送(12セグ)対応テレビ<sup>※1</sup>、音楽CDを録音するミュージックレジスター等を統合したCOMANDシステムを採用し、利便性と機能が大幅に向上しています。

※1:別途販売店オプションのテレビアンテナセットが必要となります。

走行性能面は、SLK 200 コンプレッサー、SLK 350のエンジンを専用にチューニングし、それぞれ135kW[184ps]/5,500rpm(従来比+15kW[21ps])、224kW[304ps]/6,500rpm(従来比+24kW[32ps])と大幅な出力アップを実現しました。また、SLK 350に組み合わせられる7G-TRONIC(電子制御式7速トランスミッション)には、シフトダウン時の自動スロットルブリッピング機能を採用しました。この機能はシフトダウンによるショックを大幅に低減することで荷重変化への反応を軽減することから、急激な減速時にも大きな効果を発揮します。

さらに、ステアリングの操舵角に応じてステアリングギア比が変化する「ダイレクトステアリング」を新たに装備しました。ステアリング操作をしていない時や操舵角が小さいときは、直進安定性を高めるためにステアリングギア比は15.8と大きく、一方車庫入れ時等ステアリングを大きく操作する場合は、ステアリングギア比が11.5まで小さくなる機構です。車速感应式パワーステアリングとの相乗効果により、高速走行では優れた安定性を、ワインディングロードではレスポンスのよいステアリング操作を実現しています。

SLK 200 コンプレッサー、SLK 350は、国土交通省による「平成17年排出ガス基準75%低減レベル(★★★★低排出ガス車)」認定を取得し、優れた環境適合性を実現しています。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

モデル	ステアリング	メーカー希望小売価格* ( )内は消費税抜き車両本体価格
SLK 200 コンプレッサー	右	¥5,630,000 (¥5,361,905)
SLK 350	左/右	¥7,430,000 (¥7,076,191)

\* 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。

なお、幅広いお客様のニーズに対応するパッケージオプションとして、SLK 200 コンプレッサーには、内外装のスポーティさをより強調する「スポーツパッケージ」を設定。またSLK 350には、精悍なAMGデザインのフロントスポイラーやリアスカート、18インチアルミホイールをはじめ、内外装のスポーティな個性をいっそう際立たせた「AMGスポーツパッケージ」をご用意いたしました。

なお、SLKクラスにも、メルセデス・ケア(3年間走行距離無制限の無料修理・無料メンテナンスと24時間ツーリングサポート)が適用されます。

### 「Culture of Driving 走ることへの、情熱、思想、責任。」

「自動車を発明した会社としての責任を果たすべく、常に未来に向けた自動車造りに情熱と思想を持ってチャレンジし、自動車を取り巻く環境すべてをリードしていく」

メルセデス・ベンツは自動車を提供するだけでなく、自動車文化をこれからも生み出していくという思いを込めたスローガンです。